

第2学年 特別活動学習指導案

日時	平成16年9月30日(木)	2校時
場所	体育館	
学級	2学年男子28名	女子35名 計63名
指導者	教諭 中村信雄	千葉理恵 黒澤 守

1 題材名 「職場体験学習を通して」

2 題材設定の理由

(1) 題材について

5月に行った「はたらく」の講演会をきっかけにこれまで職場体験活動に向けた職場・事業所探しや交渉活動、そして夏休み期間中の職場体験学習活動を行ってきた。

これらの取り組みで電話のかけ方や挨拶・言葉遣いなどの基本的なことを多く学ぶことができた。また、相手について考えたり気付いたりする事ができたと考えている。さらには実際の体験学習で働くことの大変さやきつさ、やりがいや喜びといった様々なことを感じてきている。

これらの体験を通して学んだことは様々であっても互いに共有できるのではないかと考える。体験を改めて振り返り、発表しお互いに確かめ合うことで自分達の活動の意義、働くという職業観・勤労観について深められるであろう。さらに、親の願いも感じつつ自己の目標設定の一助とし今後の学習や生活に生かしていけるようにさせていきたい。

(2) 生徒の実態

昨年は職場調査活動として身近な九戸村の職場訪問、そして盛岡での調査活動を行った。仕事に対して大きな夢を持つことができた。しかし、夢を実現させるためには多くの課題があることを理解はしているが、努力するところまでには至っていない。また、「働く」ということについて安易に考えていることが感じられる。今回の職場体験学習では通勤できる範囲で二～三日間の体験活動という条件を提示した。職場探しでは、安易さから店屋関係を選択しようとする生徒もいたが、実際に体を使って体験できるものを選択するようにガイダンスを行った。働きたい場所を考え、探していくにしたがって、自分の考え通りにはいかないこと、限られたものが多いことに気付いていった。「はたらく」の講演で話された自分のやりたい仕事ができる人は少ないという現実を感じた生徒もいる。また、体験学習において事業所の方に誉められ自信を持った生徒も多い。

(3) 指導構想

体験学習活動に向けた準備活動を通して、社会における基本的ルールや望ましい職業観・勤労観について気付かせたいと考えていた。そのきっかけとして「はたらく」講演会を設定した。挨拶や返事・物事に一生懸命に取り組む姿勢の大切さなど考えることができた。また、体験する職場探しにおいては電話のかけ方や挨拶の仕方は臨機応変で対応できなければならないことを感じてきた。さらには、体験学習において得た働くことの大変さや喜びをまとめ発表したり、意見交換していくことで望ましい勤労観が育まれるものと考えている。

前時では、三組に分け職場体験学習を通して学んだことを発表する活動を行った。本時では、代表のグループの発表を聞き、自分達の体験から職業や勤労について考えたことや感じたことを交流させ、それぞれの職業観・勤労観を深める会にしていきたい。

さらに個々の体験報告のまとめを深め、発表の仕方を工夫し、文化祭発表や事業所へ学習の成果報告につなげていけるように意欲づけしていきたい。

3 題材の評価規準

- (1) グループの発表により、それぞれの職業観・勤労観について関心をもてる。 (関心・意欲・態度)
- (2) 意見交流によって、互いにそれぞれの職業観・勤労観について認め合える。 (思考・判断)
- (3) 様々な職業に対する考えを適切に表現し発表できる。 (技能・表現)
- (4) 他の職業について具体的な仕事内容について理解できる。 (知識・理解)

4 指導計画

- (1) 職場体験学習の発表 【各職種ごとの発表会(三組)]・・・1時間
 (2) 職場体験学習の発表 【各組代表の発表会]・・・1時間(本時)

5 事前の指導

- ・発表力をつけさせるための活動として「帰りの短学活」に新聞の切り抜き意見発表をさせる。
- ・学年生徒会の進行指導

6 本時の指導

(1) ねらい

- それぞれが感じた職業観・勤労観を共有し深めさせる。
- グループの話し合いで、様々な職業に対する自分の意見を発表させる。

(2) 展開

段階	活動内容	・指導上の留意点	評価の視点	資料等
導入 5分	1 前時のグループ発表を振り返る。 2 学習課題の確認	・挨拶 ・先生から 〔前時は同じような職種の交流 本時は職種の違いの交流 勤労観の相違や共有できる点		・紙板書
「職場体験学習を通して」で意見交流しよう				
展開 30分	3 各組代表の発表 4 グループごとの相談 5 グループの意見発表	・学年生徒会による進行で行う。 ・職員になったつもりで発表させる。 〔職場選択の動機・仕事内容 体験によって感じたこと考えたこと ・各組代表の発表について共感したことや職業の違いについて気が付いたことを相談させる。 ・机間巡視によってグループ指導を加える。グループで意欲的に話しあい、相談してそれぞれの職業をどう思うか自分なりの意見を発表している。(技能・表現) ・学習シートに沿ってポイントをおさえた発表ができるようにさせる。		・学習シート
終末 15分	6 まとめと感想発表 7 次の活動確認	・意見交流から気付いたこと、感じたこと、自分なりに考えたことを学習シートに記入させる。 ・机間巡視によって望ましい職業観・勤労観についてまとめている生徒の意見を拾い上げる。交流会を通して様々な職種から職業観・勤労観について学んだことを自分なりにまとめ深めている。(思考・判断) ・今後の活動を確認する。		・学習シート

7 事後の指導

- ・総合的な学習の時間 親による職業観・勤労観の作文集を読み合わせる会
文化祭発表や事業所報告に向けた「まとめ」づくり